



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 星 行夫
幹事 吉野 彰芳
SAA 佐藤 政司
会報小委員 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail: info@iwakinakoso-rc.jp

2022 - 23 年国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

第 2931 回 例会 令和 5 年 3 月 1 日 (水・晴)

会員卓話

環境保全委員会

高橋正也 副委員長
小澤啓一 小委員長

君が代

ー今月は水と衛生月間、
米山月間ですー
ロータリーの目的
星 行夫 会長

◎会長挨拶ー星 行夫会長



こんにちは、先週は久しぶりの夜の例会で、大いに盛り上がりました。参加された皆さん、ありがとうございました。会員増強だけでなく、色々な話題についてお話ができてよかったと思います。また、今回の例会開催について多大な援助をいただきました渡邊公平パストガバナーに厚く感謝申し上げます。本日の理事会では、今後の会員増強の具体的な進め方及び今後の組織体制について協議したいと思います。理事の方、宜しくお願いいたします。本日の新聞等では、昨年の新生児が 80 万人より減少したとの報道がありました。深刻な少子化です。政府では 2033 年に 80 万人を切るのではと予想していましたが、それより 10 年以上早く少子化が進行しているようです。政府も異次元の少子化対策を行うと宣言していますので、是非思い切った財政投資をして少子化に歯止めをかけてほしいと願っています。本日は会員卓話の日です。環境保全委員会の方、宜しくお願いいたします。簡単ですが、会長挨拶とします。

◎幹事報告ー吉野彰芳幹事

- ・国際ロータリーガバナー事務所より第 41 回ライラ研修会へ青少年派遣のお願いが届いています。
- ・トルコ・シリア大地震支援金募集へのご協力のお願いが届いています。
- ・戦略計画委員会アンケート調査報告書完成のお知らせ、職業奉仕体験事例の収集についてのお願い

が届いています。

- ・東京江戸川ロータリークラブより週報が届いています。
- ・1997 - 98 年度ガバナー鈴木喬二様 (いわき平中央ロータリークラブ) が 2 月 23 日御逝去されました。享年 94 歳、故人の御冥福を御祈り申し上げます。謹んでお知らせ申し上げます。

◎各委員会報告

◇出席委員会ー湯目 浩小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会ー柏原達之小委員長

- ・3 月春らしくなってきました。星会長、斉藤会長エレクト、吉野 (彰) 幹事、鈴木 (敏) 副幹事、鈴木、渡邊公平パストガバナー、清水、小澤、木幡、荒川、木村 (義)、柏原、佐藤 (政)、大平、嵐、高萩、湯目、川口、吉野 (嘉)、金成 (通) 各会員
- ・誕生祝ありがとうございました。

木幡、木村 (博) 各会員

◇親睦活動委員会ー吉野嘉晃小委員長

今月誕生月の方へ誕生祝を差し上げたいと思います。その前に先日お知らせした会長杯ゴルフコンペですが 6 月 11 日を予定していましたが、6 月 10 日 (土) に変更となりました。詳細、出欠については後日お知らせしたいと思います。また、来月 4 月 9 日 (日) に観桜家族例会を開催したいと思います。こちらからファックスで出欠案内を出させていただきましたのでご返信下さるようお願いいたします。それでは名前を呼びますので前の方へどうぞ。木幡会員、木村

博昌会員おめでとうございます。



◇ロータリー財団委員会ー高萩勝利小委員長



後期地区委員会総会に過日出席して参りました。その時に気になる情報がありましたので皆様にお知らせ致します。お配りしたプリントご覧下さい。これは福島中央ロータリークラブさん ZOOM による研修日程です。時間のとれる方は夕方 5 時 30 分からは是非ご覧下さい。我々のクラブの為に大変勉強になると思います。宜しくお願いします。

◎会員卓話



環境保全委員会

副委員長 高橋 正也 会員

企業経営に「ESG (環境・社会・ガバナンス) の観点を取り入れなければならない」という考え方が、世界的に広がっています。ESG はグローバル市場においてすでに無視できない存在となっており、日本の企業にとっても、今後の経営戦略にさまざまな影響を与えていくことが予想されます。なかでも、「ESG 投資」の拡大によって、企業が投資家から受ける評価に大きな変化が起きていることを理解する必要があります。

ESG 投資とは

ESG 投資とは、ESG (環境・社会・ガバナンス) への意識が高い企業を重視し、投資先を選定することを指します。企業が行う社会貢献事業への評価に加えて、長期的な利益に発展することを考慮している点が大きな特徴です。

そもそも ESG とは

ESG は、Environment (環境)、Social (社会)、Governance (ガバナンス) の頭文字をとった造語です。①気候変動や大気汚染などの環境問題、②人権や労働環境などにかかわる社会問題、③コンプライアンス、リスク管理、利益相反管理 (ステークホル

ダーの利益が不当に害されないように管理する) などにかかわる企業課題という 3 つの「非財務的視点」から経営手法を見直すことで長期的なリスクマネジメントを行うと同時に、企業の持続的な成長を目指す取り組みといえます。ESG に関わる課題への取り組みに法的拘束力はありません。しかし、ESG 評価が高い企業は、社会的な意義を持つ事業を継続的に行うものとして、経済的な発展や今後の成長が見込まれます。一方、ESG への取り組みを軽視したため、不買運動が起きて大きなダメージを受けた企業もあります。

ESG と SDGs の違い

ESG と混同されやすいものに、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) がありますが、この 2 つは本質的な意味合いが異なります。ESG は、上述した 3 つの非財務的視点が企業の成長に影響するという考え方で、主に企業の取り組みを指します。一方、SDGs は 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指すという世界共通の 17 の目標を指し、取り組みを求められる対象は国や企業だけでなく個人も含まれます。SDGs が掲げる 17 の目標は、企業が ESG に取り組む際のヒントとして活用できるものと考えるとよいでしょう。

◎会員卓話



環境保全委員会

小委員長 小澤 啓一 会員

今年度環境保全委員会としては猪苗代湖の水草除去を皆さんのご協力で行うことが出来ました。ありがとうございました。私は現在、火力産業という会社に勤務しております。常磐共同火力の 100 パーセント子会社です。昭和 52 年に設立され従業員 190 名となっています。仕事は常磐共同火力の中の運転は常磐共同火力で行っていますが、それ以外の仕事の修理メンテナンス工事関係、出て来た石炭灰の販売等を事業を行っています。受諾の中には石炭を発電所のボイラーへ送り届ける作業もありその石炭をどのように扱っているのか紹介したいと思います。石炭は海外から小名浜港へ船で輸送され、小名浜港から発電所のボイラーまでダンプで運ばれます。小名浜港には三崎公園側から 1 から 7 号埠頭まであります。藤原川をはさみ藤原埠頭、大剣埠頭があります。2 号埠頭にアクアマリン水族館があり、3 号埠頭から 7 号埠頭までがいろいろな工業製品を荷役している埠頭になります。6 号、7 号埠頭が石炭を上げる埠頭です。

出席状況	正会員数	36 名	カード出席	0 名
	本日出席会員数	27 名	本日の修正出席率	75 %